

## 2019年国際大会自費参加基準及びエントリー要項

世界ランキングに関わる大会の自費参加基準及びエントリー方法は次のとおりとする。

- I 出場資格
- 1) 2018年全日本総合バドミントン選手権大会にエントリーした選手とする。  
但し、怪我、病気等によりエントリーできなかった出場有資格者は許可する。  
また、選手強化本部長の判断により、資格外の特例を認める場合がある。
  - 2) 大会エントリーの上限はエントリーしようとする国際大会を基準日として、過去52週間で下記のとおり許可する。  
ランキング8位以内： 10大会  
ランキング16位以内： 8大会  
ランキング17位以下： 6大会  
(国内開催の国際大会は対象外とする)  
**\*2018年全日本総合バドミントン選手権大会直後、および当該年日本ランキング大会直後の日本ランキング**
  - 3) 当該種目以外のエントリーは認めない。但し、有資格者同士のダブルス、混合ダブルスにおいては組み替えを認め、2名のランキング合計の少ないペアを上位とし、合計が同じ場合は上位ランキング者のいるペアを上位とする。  
日本代表選手(ナショナルチーム)については当該種目以外でも、選手強化本部長の判断によりエントリーを認める場合がある。
  - 4) 若手選手育成強化策の一環として22歳以下(2019年4月1日現在)の有資格者は当該種目以外でも、シングルス、ダブルス、混合ダブルスへのエントリーを認める。但し、ペアはどちらも有資格者で22歳以下であること。
  - 5) 外国人選手とのペアリングは認めない。
  - 6) 日本代表選手(ナショナルチーム)は、自費参加について事前に選手強化本部長の許可を必要とする。
- II 対象大会 世界ランキング対象となる大会の内、Super300以下の大会とする。  
日本協会として選手団を派遣しない大会とする。但し、日本代表選手(ナショナルチーム)のエントリー数が、8複8単に満たない場合はエントリー可とする。
- III 出場枠 同一大会への参加申し込みが多数ある場合は、各種目ランキング上位者より8複8単以内とする。但し、選手強化本部が特別に指定した日本代表選手(ナショナルチーム)がエントリーする場合はランキング上位者として位置づける。
- IV 申し込み **該当大会のエントリー〆切り14日前まで**に日本協会へEmail またはFAX にて行う。  
(jpnbad@badminton.or.jp 03-3481-2456)  
日本協会ホームページに大会要項が掲載されていない大会への参加を希望する場合は、事前に日本協会へ連絡する。  
(参加申込書は日本協会ホームページからダウンロード可)
- V 宿泊/送迎 大会オフィシャルホテルへの宿泊を希望する場合は、予約部屋数、部屋割りおよび渡航日程をエントリー申し込みと同時に協会担当者に Email または FAX で申し込むこと。(jpnbad@badminton.or.jp 03-3481-2456)
- VI 派遣申請 日本協会からの派遣依頼文書が必要な場合は、依頼先住所・宛名を明記し、日本協会担当者に申し出る。

- VII 結果報告 代表者は試合結果を毎日、下記宛先まで報告する事を義務とする。(Email または FAX) 報告なき場合は次回以降の出場を許可しない。
- 1) 日本協会  
nba@badminton.or.jp +81-3-3481-2456
  - 2) 共同通信社  
sports@kyodonews.jp +81-3-6252-8765
  - 3) 時事通信社  
sports-box@jiji.co.jp +81-3-3543-2172
  - 4) 日本協会広報  
mura@orange-inc.jp +81-3-5327-5386
  - 5) 日本協会広報  
h-arimura@badminton.or.jp +81-3-3481-2456
- VIII 試合着用ウェア 各自で用意する。  
試合着用ウェア (パンツ・スコートを含む) は最低2種類のカラーウェアを用意する事とする。  
背面表示は当該年BWFルールによるものとする。  
参照：別添  
①BWF、BA主催の国際大会におけるレタリング (プリント表示) について。  
②選手のウェア上の選手名、国名表示、ウェアの色に関する一覧表。
- IX 費用 全額を参加者負担とする。(キャンセル料等を含む)
- X 出場取消 出場確定後の取消は以後のエントリーを認めない場合がある。  
大会直前の取消は罰金が発生し、支払いは所属チーム負担とする。  
➤ \$250 (22日前まで) : BWF大会、Super 100 以上  
➤ \$150 (16日前まで) : インターナショナルチャレンジ、インターナショナルシリーズ、フューチャーシリーズ
- XI 賞金 獲得賞金は賞金明細とともに日本円で日本協会へ納めること。
- XII その他 20歳未満の参加については、必ず引率責任者をつけて申し込むこと。

## 2019年国際ジュニア大会自費参加基準及びエントリー要項

- I 出場資格
- 1) 事前に選手強化本部長が許可する者。但し、必ず引率責任者をつけること。
  - 2) 外国人選手とのペアリングは認めない。
  - 3) 大会エントリーの上限はエントリーしようとする国際大会を基準日として、過去52週間で下記のとおり許可する。
- ジュニアナショナルチーム： 6大会  
ジュニアナショナルチーム以外： 4大会  
(国内開催の国際大会は対象外とする)  
\*大会にエントリーしようするときの資格とする
- II 対象大会 世界ジュニアランキング対象となる大会。
- III その他 本要項に定めのない事項については、「国際大会自費参加基準及びエントリー要項」に準じて、選手強化本部長が決定する。

**BWF、BA主催の国際大会におけるレタリング(プリント表示)について**

\* 注意: オリンピック、アジア大会は独自の規程がある

**(ウエア背面に表示できるレタリング)**

- ・ウエア背面に表示できるレタリングは選手名、国名、広告(スポンサー名、チーム名、宣伝など)の3行である。
- ・レタリングはアルファベット大文字であること
- ・選手名、国名に関するレタリングの色は単一色でウエアの下地の色とはっきりと識別できる色とする。
- ・レタリングは水平であることを原則とするがそうでない場合もできるだけ水平に近づけること。
- ・レタリングはウエア背面の上部に位置するようにする。
- ・選手名のレタリングの文字列の高さは6cm～10cmであること(但し、巾は背面の巾一杯まで表示できる)
- ・国名のレタリングの文字列の高さは5cmであること(但し、巾は背面の巾一杯まで表示できる)
- ・広告の表示については文字列(広告表示会社のロゴを含んでもよい)の高さは5cm以内とする。  
(但し、巾は背面の巾一杯まで表示でき、角度もどのような角度でもよい)
- ・レタリングを表示した場合の文字列順番、以下のように選手名、国名、広告の順である。  
常に全部を表示してもよいが、広告の表示は自由であり、選手名、国名の表示の義務付けも大会ごとに変わってくる。(別紙「選手名、国名表示とウエアの色に関する一覧表」参照)

選手名	高さ6cm～10cm
国名	高さ5cm
広告	高さ5cm以内

**(ウエア前面に表示できるレタリング)**

- ・ウエア前面に表示できるレタリングは広告(スポンサー名、チーム名、宣伝など)の1行であり、文字列の高さは10cm以内である。(但し、巾は前面の巾一杯まで表示でき、角度もどのような角度でもよい)

広告	高さ10cm以内
----	----------

**(ウエア前面に表示できるロゴ)**

- ・20cm<sup>2</sup>以下のロゴをウエア前面に5つまで表示ができる。(国旗、メーカーロゴもその数と大きさの規程に含まれる)表示できる場所は以下の箇所であり、1ヶ所に1個までとする。

左袖、右袖、左肩、右肩、左襟、右襟、左胸、右胸、胸の中央の計9ヶ所

**(注意)**

- \* 上記のレタリングに関する規程は2018年9月24日現在のものであり、東京オリンピックまでは改訂されないと思いますが、改訂に関しては毎年5月に開催されますBWF年次総会の決定事項に十分注意してください。
- \* 既述の規程はBWF、BA主催の国際試合においてのみ実施される規定であり、国内第1種大会では日本バドミントン協会発行の2018-2019競技規則(諸規程集)に記載されております大会運営規程第24条が適用されます。

因みに、既述の規程と大きく異なる所は以下の点です。十分にご注意ください。

- ・文字列の大きさと記載される内容
- ・背番号やロゴの表示数と大きさ など

以 上

## 選手のウェア上の選手名、国名表示、ウェアの色に関する一覧表

	選手名 背面表示	国名 背面表示	シングルスにおける	ダブルスにおける	
			ウェア、パンツ、スコートの色	ウェア、パンツ、スコートの色	
			対戦相手は 明らかに違う色を着用する	パートナーは同色を着用する	対戦相手は 明らかに違う色を着用する
オリンピック	登録された名前 順守	順守	登録された色 順守	登録された色 順守	登録された色 順守
世界選手権	順守	自由	順守	順守	順守
ト、ユ杯 (チームは同一ユニフォーム)	大陸予選は大陸規定 本大会は順守	順守	出来る限り順守 本大会は順守	出来る限り順守 本大会は順守	出来る限り順守 本大会は順守
スティルマンカップ (チームは同一ユニフォーム)	ディビジョン1のみ順守 あとは自由	順守	順守	順守	順守
世界ジュニア(個人)	順守	自由	順守	順守	順守
世界ジュニア(団体) (チームは同一ユニフォーム)	順守	順守	順守	順守	順守
世界シニア	出来れば順守	自由	自由	自由	自由
グレード2(レベル1~5) (ジャパンオープン秋田マスターズ)	順守	自由	メインドローは順守	メインドローは順守	メインドローは順守
グレード2(レベル6)	順守	自由	準々決勝からは順守	準々決勝からは順守	準々決勝からは順守
グレード3 (大阪インターナショナル)	(団体戦) (自由もしくは大陸規定とあるが) 順守	(団体戦) 順守	(自由もしくは大陸規定とあるが) 準々決勝からは順守	(自由もしくは大陸規定とあるが) 準々決勝からは順守	(自由もしくは大陸規定とあるが) 準々決勝からは順守
インターナショナルU19	(個人戦) 順守	(個人戦) (自由もしくは大陸規定とあるが) 自由			

\* グレード2、3のカテゴリー分けは別紙資料「EVENT」を参照

\* 同一マッチは同一カラーのユニフォームの着用が義務づけられます。

国際大会に出場される選手は2色以上の違った色のユニフォームと各色2枚以上ウェアを持参することが望まれます。

\* 色の選択はランキングの上位の者に選択権があります。(最初のMQリストによる)